

---

# 遊戯王GX～レモン戦記～

k1グランプリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王GX〜レモン戦記〜

### 【Nコード】

N6730Y

### 【作者名】

k1グランプリ

### 【あらすじ】

デュエルアカデミアでレモン（レッドデーモンズドラゴン）を持ったオリ主が大暴れ？

.....出来たらいいな。

シンク口有り、エクシーズ無し、転生物では無い

初投稿なので、誤字、脱字、ノロノロ更新などが有ると思いますがどうぞよろしく願います。

01話 プロローグって必要だよね。(前書き)

初作品です。温かい目で見てください。

## 01話 プロローグって必要だよな。

そこは数多くのデュエリストを養成する学園、デュエルアカデミア。

その入学試験が海馬ランドで開かれていた。

サイド天夜

『受験番号17番、デュエルフィールドに上がってください』  
と、アナウンスだ。

俺の相手はグラサン教師だな、というより、ほぼ全員がグラサン  
ってどーよ？

「受験番号17番、紅蓮くれん天夜あまやです。よろしくお願いします」

「ああ、全力でかかってきなさい。さあ行くぞ！」

「デュエル！」

「先攻は譲ろう」

「ありがとうございます。ドロー」

こここの先生良い人だな、大体の人は先行取りに行くのに。

「ヘル・ドラゴンを召喚

(星4 闇属性 ドラゴン族 攻2000 守0)

カードを二枚伏せターンエンド。」

「いきなり2000ですか…困りましたね、ドロー 私はホルスの

黒炎竜LV4を召喚

(星4 炎属性 ドラゴン族 攻1600 守1000)  
手札から魔法カード レベルアップ!を發動します、効果でホル  
スはLV6に進化

(星6 攻2300 守1600)  
ホルスでヘル・ドラゴンを攻撃!」

ホルスが放ったプレスがヘル・ドラゴンを焼き払う

天夜LP4000 3700

「エンドフェイズ時ホルスがLV8に進化!」

1ターン目からホルス8だと!本当に試験用デッキかよ?

「俺のターンドロー バイス・ドラゴンを特殊召喚!このカードは  
相手フィールド上に

モンスターが存在し、自分フィールド上に存在しない時、特殊召  
喚できる。」

(星5 闇属性 ドラゴン族 攻2000 守2400)

( 攻1000 守1200)

「サイバードラゴンのドラゴン族版か?」

「そうですけど、攻守が半分になります。  
続いてトラスト・ガーディアンを通常召喚。」

(星3 光属性 天使族 攻0 守800 チューナー)

「チューナー?」

観客と教師が疑問府を浮かべている、チューナーモンスターを知らないのか？

【チューナーとシンクロ説明中】

「では、トラスト・ガーディアンとバイス・ドラゴンをチューニング  
八つの星が揃う時 紅蓮の龍が降臨する その力を存分に振る舞  
え シンクロ召喚！

レッド・デーモンズ・ドラゴン。」

(星8 闇属性 ドラゴン族 攻3000 守2000)

「レッド・デーモンズ・ドラゴンでホルスを攻撃 アブソリユート  
パワーフォース！」

「相撃ちね」『甘いな、トラスト・ガーディアンをシンクロ素材と  
した場合1ターンに

1度戦闘では破壊されない、しかし400ポイント下がる。』

ホルスがグロテスクに粉碎される

「まだまだ 畏発動 絶え間無き追撃。2000ライフ払い、モン  
スター一体の攻撃力を 1000上げもう一度攻撃できる、そし  
て速効魔法 賢者の聖杯、モンスター一体の  
効果を無効にし攻撃を400上げる。」

レッド・デーモンズ・ドラゴン攻2600 4000

「もう一度アブソリユートパワーフォース！」

教師LPO

「完敗です、あなたならまず合格でしょう。」

「ありがとうございます。」

「適当に他の人を見て帰るとしますか。」

01話 プロローグって必要だよな。(後書き)

今日のオリカ 絶え間無き追撃。2000ライフ払い、モンスター  
一体の攻撃力を 1000上げもう一度攻撃できる。

## キャラ設定(前書き)

いきなりですが、すいません。

1話のトラストガーディアンの効果分かり難いと思います。

一回破壊を防ぐと400下がりもう一回防ぐとまた400下がります。

## キャラ設定

紅蓮 くれん  
天夜 あまや

ライイエロー所属

容姿 ひぐらしの前原圭一

メインデッキ ジャックのデッキ+ドラゴン族を足したパワーデッキ。

明るい性格でデュエルは勝つより楽しむ派。

恋愛には興味が無く、鈍感の上極まりない。

デュエルの腕は十代と同じくらい

1期と2期ではデッキを変ええると思う

トラストガーディアン

紅蓮 天夜の精霊

人間の事が話せるが理解力が無い

同じ天使族なのに羽クリボーを敵視してる……可愛いから？

デッキは天使族

## キャラ設定（後書き）

覗き事件までは、この土日で書きたいと思います。

02話 やったー人部屋だ。え、違う？(前書き)

今回はデュエル無しです。

02話 やったー一人部屋だ。え、違う？

数日後デュエルアカデミアから合格通知が届いた

所属はライイエローだ、まあこんなもんか。

で、現在ライイエロー寮、自分の部屋に誰も居ないから一人部屋か、ラッキー

歓迎会まで時間があるからデッキ調整でもしますか。

「おい、俺をスルーするな！」

おかしい、誰も居ないはずなのに声が聞こえる。

「こつちを向け！」

声ができる方を向くとイエローの生徒が居た。

ピポパポパ『あつ、校長先生ですか？不法侵入者がいます』

「ふざけるな！俺はお前より先に此処にいたぞ。」

「嘘だアアアアアアアアアアアアアアア」

「ひぐ しの様な「嘘だ」はやめる。それに俺は三沢大地<sup>みさわ だいち</sup>、イエローでこの部屋だ。」

一人部屋じゃないのか、しかもルームメイトがこの空気だとは泣け

てくるぜ。

「今、失礼な事考えてなかったか？」

「ルームメイトがこの空気だとは泣けてくるぜ、何て事は考えて無かったぞ」

「その発言が失礼だ。」

「はいはい、そろそろ歓迎会の時間だから先行ってるぜ。」

そして、歓迎会が始まると料理が出てきたが、  
ビーフカレー、ポークカレー、チキンカレー、キーマカレー、イン  
ドカレーなどなど

とにかくカレー三昧だった、そしてお前らなぜ平然と食う何だ？俺  
が間違っているのか？

食えば良いんだろ食えば！

オエエエエエエ

ヤバいぞ口の中がカレーのオンパレードやー

飯食う時は、レッド寮にでも食いに行くのかな。

02話 やったー一人部屋だ。え、違う？（後書き）

短い！と思った方すみません。  
次話は長くしたいと思います。

03話 野球の硬式ボールは当たるとぶち痛い(前書き)

どの小説でも恒例のオリ主対十代です。

### 03話 野球の硬式ボールは当たるとぶち痛い

今日はイエロー対レッドの野球勝負だ。野球ってデュエルに關係有るのか？

お、俺の打席だ、相手ピッチャーはレッドの元気百倍アンンン  
のような奴だ。

「俺の球が打てるかな？」

「来いよ、バイキマのように吹っ飛ばしてやるぜ。」

「言ったな、喰らえー」

ぱしゅっ

バアアアン

野球場に豪快な音が響き渡る

「デッドボール」



天夜は倒れた

もう紅蓮には戦えるポケモンがない  
紅蓮は目の前が真っ白になった。

てんでんてるてん ポケモン センターの回復音

「ケガは治りましたよ、気を付けてくださいね。」

「ありがとうございました。」

俺が気絶してる間に授業が終わり、もう放課後だ

今からレッドに言って、逆襲してくるぜ

.....

「おいアンソン俺とデュエルしろ！」

「受けたデュエルは必ず買うぜ。」

「デュエル！」

「先行は俺が貰う。ドロー。E・HEROSパークマンを召喚！」

星4 光属性 戦士族 攻1600 守1400

カードを2枚伏せターンエンド。」

「俺のターン、ドロー。アックスドラゴニートを召喚

星4 闇属性 ドラゴン族 攻2000 守1200

魔法発動、スタンピングクラッシュ。自分の場にドラゴン族がいるとき、相手の魔法罫カードを一枚破壊し500ポイントダメージを与える。」

アン    ン    LP3500

「くそつミラーフォースが。」

「アックスドラゴニユートでスパークマンを攻撃」

アックスドラゴニユートのアックスがスパークマンを真っ二つに叩き斬る  
グロくない？これ

アン    ン    LP3100

「畏発動！ヒーローシグナル。効果でクレイマンを特殊召喚。」

「カードを1枚伏せターンエンド。」

「俺のターン、魔法カード戦士の生還を発動、効果で墓地のスパークマンを手札に

そして融合発動。手札のスパークマンと場のクレイマンを融合！  
いでよ、サンダージャイアント。」

星6    光属性    戦士族    攻2400    守1500

「サンダージャイアントの効果手札を一枚捨てこのカードの攻撃力以下のモンスターを一体破壊する  
ライトブレイク！」

アックスドラゴニユートが電撃を受け破壊される

「サンダージャイアントでダイレクトアタック！」

天夜LP1600

「俺のターン、ドロ。バイスドラゴンを特殊召喚そしてドレッドドラゴンを召喚

ドレッドドラゴン 星2 炎属性 ドラゴン族チューナー 攻1  
100 守400

バイスドラゴンにドレッドドラゴンをチューニング

竜の暴君よ圧倒的な力で敵を驚愕させよ。シンクロ召喚！ エクスプロード・ウィング・ドラゴン

星7 闇属性 ドラゴン族 攻2400 守1600

エクスプロード・ウィング・ドラゴンでサンダージャイアントを攻撃！

そして効果発動このカードの攻撃力以下の攻撃力を持つ、フィールド上に表側表示で存在する

モンスターと戦闘を行う場合、ダメージ計算を行わずそのモンスターを破壊し、

破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える事ができる。」

「なっ！まじかよ。」

アンン LP700

「俺はターンエンドだ。」

「お前強いな、だが俺はその上をいく。ドロ。」

魔法カード天よりの宝札。お互いに6枚になるまでドローする。そして融合を発動！手札のワイルドマンとエッジマンを融合  
来いワイルドジャギーマン。

星8 地属性 戦士族 攻2600 守2300

ワイルドジャギーマンでエクスプロード・ウィング・ドラゴンを攻撃。  
」

「速効魔法発動 賢者の聖杯、モンスター一体の効果を無効にし攻撃を400上げる。」

エクスプロード・ウィング・ドラゴン 攻2400 攻2800

ワイルドジャギーマンが返り討ちになる

「俺のターン、エクスプロード・ウィング・ドラゴンでトドメだ。」

アン  
ン  
ン  
L  
P  
O

「いやー、お前強いなー ガッチャ、楽しいデュエルだったぜ。」

「俺もだ、それと晚饭レッド寮に食いに行っていいか？イエローは3食カレーだからな。」

「げえ、それは嫌だな、分かった食いに来いよ。それと俺はアン  
ン  
ン  
じゃなくて

遊城 十代宜しくな。」

「俺は紅蓮 天夜宜しく。」

「じゃあ後でな。」

「了解。」

04話 覗きは「軽犯罪法」第1条第23号違反になる(前書き)

覗きは本当にやめましょう

04話 覗きは「軽犯罪法」第1条第23号違反になる

「エ、エビフライだと……………」

「どうした天夜、エビフライは苦手か？なら貰うぞ俺大好きなんだ。」

「エビフライはやらん、俺がレモンの次に大好きな食べ物だ。」

ちなみに、俺は好きな物は後に食べる派だ

「食べ終わったら又デュエルしようぜ。」

「無理だ、イエロー寮の門限に間に合わない。」

それより、いつもお前の隣にいる青のチビはどこに行った。」

「そつえば、ちょっと出てくるツス、とか言って出て行ったぞ。」

部屋の外が暗くなった頃、十代の学生手帳が鳴った。

「何だ？」

「大変だ！翔が誘拐された。」

「マジか？」

「返してほしくば、ブルー女子寮に来てだってよ、いくぜ天夜！」

「待て、俺はまだエビフライを、やめる引つ張るな、あつエビフライ、エビフライ」

・・・・・・・・・・・・・・・・

「ぜえ…ぜえ…お前らが翔を誘拐したのか？」

「誘拐じゃないわ、この子がお風呂を覗いたのよ。というより何でそんなに疲れてるの？」

「ちよつと天夜を連れてくるのにな……」

「という事はこの青がくだらない事をしたから、俺のエビフライが無駄になり

寮の門限がすぎてしまったのか？」

「僕は覗いて無いツスよ」

「翔、少し静かにしてくれ。」「黙ってるカス」「お風呂を除くなんて万死に値するわ。」「

「み、みんな酷いツス」

「で、俺達に何をしろと」

「デュエルよ。あなたが勝てばこの子を解放してあげるわ。」「

「覗き魔がどうなるうか知ったこつちや無いが俺は早く帰らないとヤバいんだ。」「

「デュエル」

「先行は貰うわ。ドロ、エトワールサイバーを召喚！」

星4 地属性 戦士族 攻1200 守1600

カードを伏せターンエンド。」

「俺のターン、バイスドラゴンを特殊召喚！そしてワンフォーワンを発動、手札のモンスターを

一枚捨てバリアリゾネーターをデッキから特殊召喚！

星1 光属性 悪魔族チューナー 攻300 守800

二体をシンクロ、いでよ、天狼王ブルー・セイリオス。」

星6 闇属性 獣戦士族 攻2400 守1500

「さらに魔法カード 精神同調波を使いエトワールサイバーを破壊しランス・リンドブルムを召喚！」

星4 風属性 ドラゴン族 攻1800 守1200

さらにサイクロンを発動、リバーズカードを破壊！ミラーフォースか、厄介なカードだ。

ブルー・セイリオスとランス・リンドブルムでダイレクトアタック！」

明日香 L P O

「嘘！私が1ターンキルされるなんて!？」

「満足したか？俺は時間が無いんだ帰らせて貰うぜ。」

「最後に名前を聞かせてもらえないかしら？」

「紅蓮天夜だ、じゃあな。」

「ちょっと、僕の縄を解いてくださいッス」

この後、警備員と朝までに亘る鬼ごっこが始まる事を俺はまだ知らなかった。

04話 覗きは「軽犯罪法」第1条第23号違反になる(後書き)

次回は月1テストになるが、中々万丈目が出せない  
そしてやっぱり短い………

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6730y/>

---

遊戯王GX～レモン戦記～

2011年11月20日20時06分発行